



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます



2019年度 保健福祉システム部会業務報告会

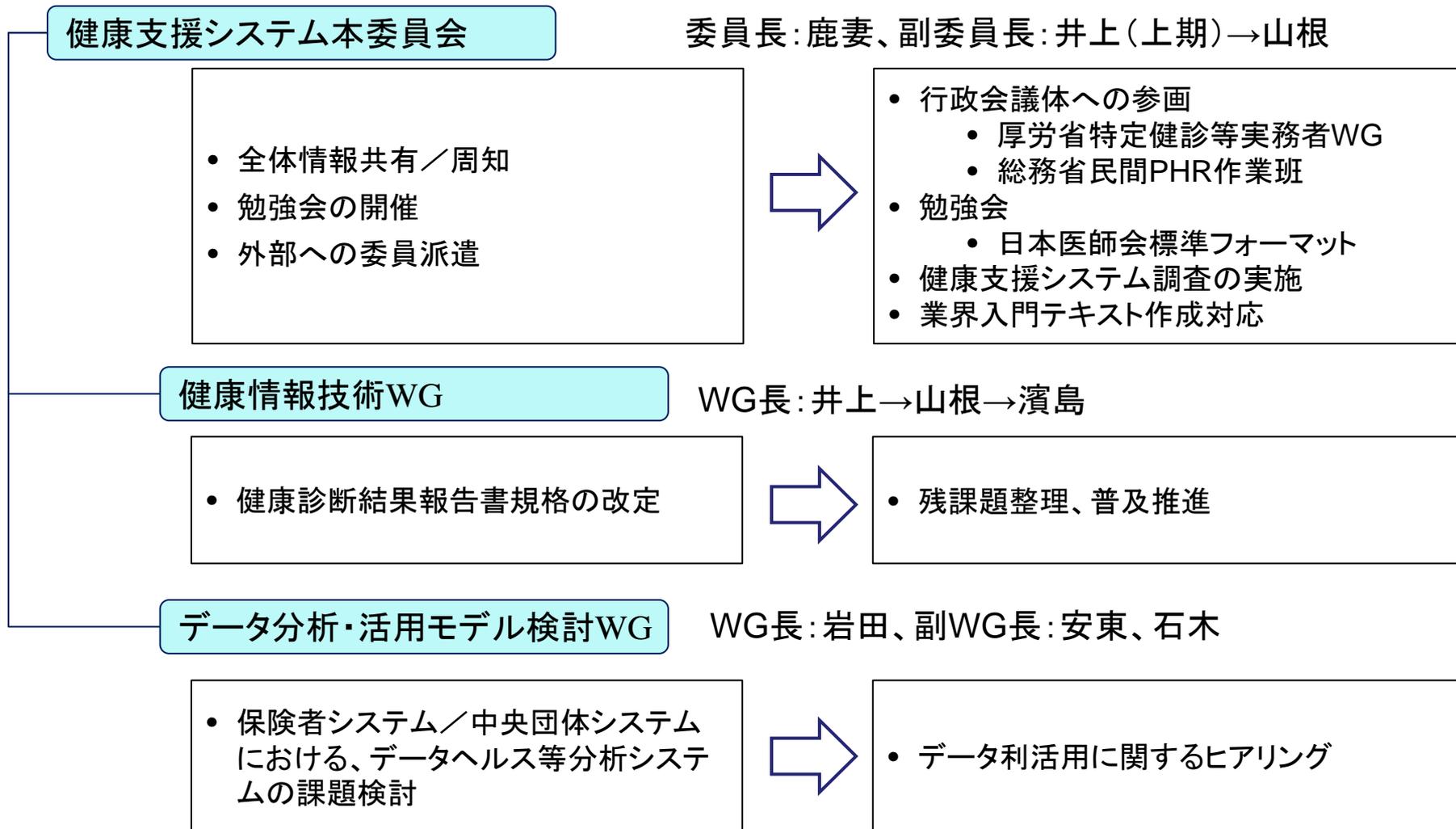
健康支援システム委員会報告

2020年2月14日
健康支援システム委員会
委員長 鹿妻 洋之

本日のトピックス

- 委員会構成と本年度の成果(見込み)
- 特定健診、特定保健指導関連事項
- 経済産業省ヘルスケアIT研究会関連事項

委員会構成と本年度の活動成果（見込み）



本日のトピックス

- 委員会構成と本年度の成果（見込み）
- 特定健診、特定保健指導関連事項
- 経済産業省ヘルスケアIT研究会関連事項

保険者による健診・保健指導等に関する検討会の開催状況と議題

回数	開催日	議題等
第36回	2019年12月18日 (令和元年12月18日)	<ol style="list-style-type: none"> 2017年度特定健診・特定保健指導の実績等に基づく2018年度の後期高齢者支援金の加算・減算について 特定健診データ等の保険者間の引継ぎ、マイナポータルを活用した特定健診データ等の閲覧について その他
第35回	2019年11月13日 (令和元年11月13日)	<ol style="list-style-type: none"> 2017年度特定健診・特定保健指導の実績等に基づく2018年度の後期高齢者支援金の加算・減算について 特定健診データ等の保険者間の引継ぎ、マイナポータルを活用した特定健診データ等の閲覧について 特定健診・特定保健指導の医療費適正化効果等の検討状況について 特定保健指導の「モデル実施」に係る対応について <u>高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラインの改定について(報告)</u> その他
第34回	2019年3月28日 (平成31年3月28日)	<ol style="list-style-type: none"> 特定健診・特定保健指導の2017年度実績について(報告) 特定健診データ等の保険者間の引継ぎ、マイナポータルを活用した特定健診データ等の閲覧について 特定保健指導の「モデル実施」に係る対応について 高齢者の保健事業について(報告)



本検討会間に非公開の実務担当者WG開催。仕様に関する細部について議論。

調整中

特定健診システム関連の改修等のスケジュール（イメージ）

2019年12月時点

	2019年度				2020年度				2021年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
法定報告			☆2018年度実績報告				☆2019年度実績報告		法定報告		☆2020年度実績報告	
オンライン資格 （特定健診機能）	仕様書・調達作業			設計・開発			保険者等 運用テスト	特定健診 情報登録	特定健診情報登録			
保険者					特定健診に係る 保険者のシステム改修		システムで2桁を発行 し資格用のデータ登録	保険者等 運用テスト	特定健診に係る 保険者のシステム改修			
支払基金				特定健診等データ収集システム等の改修				保険者等 運用テスト				保険者等 運用テスト
国保中央会				特定健診等データ管理システムの改修				保険者等 運用テスト				
医療機関					特定健診等関連システムの改修							
厚生労働省				特定健診等情報ファイル 仕様説明書等の修正	匿名化・暗号化ソフト 設計・開発			匿名化・暗号化ソフトの改修項目（精査中） ①個人単位被保険者対応（ハッシュID 5） ②支払基金向け匿名化・暗号化ソフトの開発	保険者等 連携テスト			

・ 現行5月から11月に法定報告している
・ 当該法定報告される特定健診情報ファイルをベースとしてオンライン資格確認等システムに格納する
・ 個人単位被保険者を付番した匿名化前特定健診情報ファイルを提出する（検討中）すべての受診者分を提出する

・ 2021年1月から3月は、先行して特定健診データ等のみを登録可能な保険者を募り、特定健診情報の登録を実施（詳細な運用は、今後検討）

特定健診データ等のマイナポータルによる閲覧開始
（2020年度実施分以降のデータ、登録が可能な保険者から）

特定健診に係る保険者システムの改修項目（精査中）
①個人単位被保険（2桁）の付番、②匿名化前特定健診情報ファイルの作成

特定健診等データ収集システム等の改修（精査中）
①個人単位被保険者対応した匿名化前特定健診情報ファイルの受入、②エラーチェック仕様、③オンライン資格確認等システムへの接続
④特定健診決済代行システムとデータ収集システムの接続、⑤個人単位被保険者対応した匿名化前特定健診情報ファイルの受入

特定健診等データ管理システムの改修（精査中）
①個人単位被保険者対応
②オンライン資格確認等システムとのデータ連携

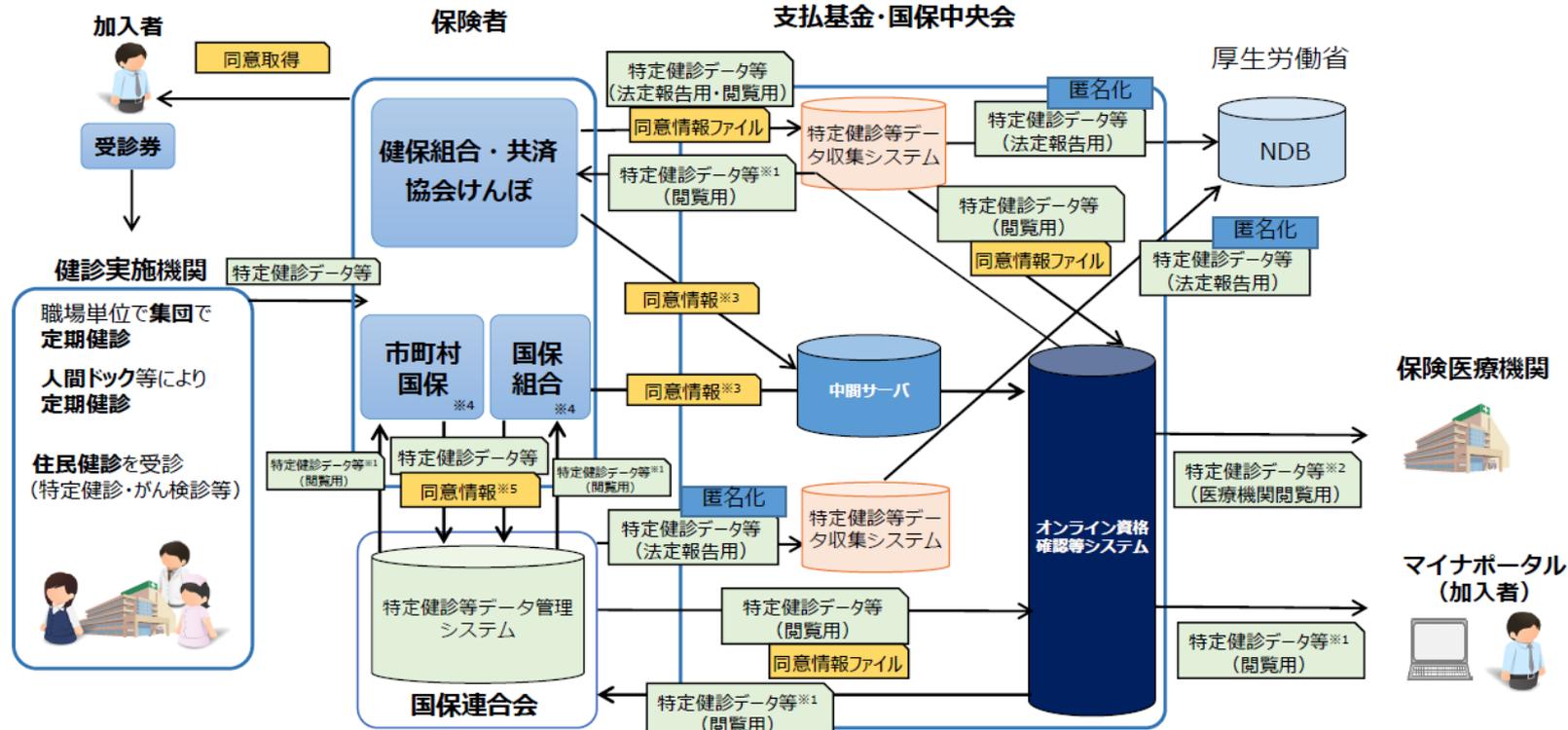
特定健診等関連システムの改修（精査中）
①個人単位被保険者対応

オンライン資格確認等システム（特定健診機能）の設計・開発とは別に、詳細な運用等を更に議論

調整中

特定健診データ等の提出経路（案）

保険者間引き継ぎに当たっての本人同意の取扱いについては別途調整中



- ※1 PDF、XML等でのダウンロードを想定
- ※2 医療機関閲覧用ファイルは保険者引継ぎ用とは別途レイアウトを設定
- ※3 統合専用端末での登録を想定
- ※4 国民健康保険のうち、国保連合会を経由せず法定報告している場合は、被用者保険の登録の流れに準ずる（国保組合も同様）
- ※5 国保連合会の特定健診等データ管理システムに対し、保険者設置の同システムの端末から同意情報ファイル作成を指示

主な検討項目に関する検討状況

2019年12月時点

主な検討項目		検討状況
特定健診データ等の管理期間等のあり方	特定健診データ等の記録の保存期間	・平成31年3月28日第34回保険者による健診・保健指導等に関する検討会においてデータの保存期間について検討済み
	特定健診データ等のダウンロードの仕組み	・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会においてファイル形式・ダウンロード端末について検討済み ・具体的なダウンロード方法については今後検討
保険者からの特定健診データ等の効率的な登録方法、照会・提供の仕組み	特定健診データ等の保険者間の効率的な照会・提供の仕組み（同意の取得・管理）	・検討中
	保険者から支払基金へのデータの効率的な登録方法（匿名化前データの登録方法等）	1. 特定健診情報ファイルの個人単位被保険者番号対応 ・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において登録経路や仕様等について検討済み ・登録時期等について整理中 2. 匿名化前データの登録方法 ・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において登録経路や仕様等について検討済み ・顕名データの登録方法について整理中
	2020年度における先行的な特定健診データ等の登録	・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において登録経路や仕様等について検討済み ・顕名データの登録方法について整理中
	健診実施機関から支払基金経由で特定健診データ等をオンライン資格確認等システムに登録する方法	・今後検討
	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）への効率的な登録方法（データの匿名化等）	・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において登録方法・仕様について検討済み
マイナポータル等での特定健診データ等の表示	表示が必要な健診結果項目等	・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において項目について検討済み
	医療機関での特定健診データ等の閲覧方法や表示方法	・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において閲覧項目・ファイル形式について検討済み
	加入者の健康管理に資する分かりやすいマイナポータル等での画面表示（経年データの表示方法等）	・令和元年11月13日の第35回保険者による健診・保健指導等に関する検討会において閲覧項目・ファイル形式・表示方法について検討済み
	民間PHRサービスとの役割分担や民間事業者におけるPHRの利活用及び遵守すべきルールについて	・健康局の検討会と連携しつつ、今後検討

主な変更事項

- 閲覧用ファイル、法定報告用ファイル(匿名化前)の新設
 - 個人被保険者番号対応(枝番の追加)
 - 後期高齢者質問票変更対応(項目表、OID表等への追加)
 - 閲覧用ファイルにおけるデータ削除要求に関するルール付け
- 実務担当者WG関係者集まり、細部について議論

資料名	機関等 →保険者	法定報告用 (匿名化前)	閲覧用情報 ファイル	保険者 →支払基金
特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル仕様説明書	あり	あり	あり	あり
特定健診・特定保健指導 決済情報集計ファイル仕様説明書	あり	-	-	-
特定健診・特定保健指導 集計情報ファイル仕様説明書	-	作成or不要?	-	あり
特定健診情報ファイル仕様説明書	あり	新規作成?	新規作成?	あり
特定健診決済情報ファイル仕様説明書	あり	-	-	-
特定保健指導情報ファイル仕様説明書	あり			あり
特定保健指導決済情報ファイル仕様説明書	あり	-	-	-
共通XMLスキーマファイル説明書	あり			あり
特定健診・特定保健指導のデータファイル送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	あり			-
提出用データアーカイブ仕様	-			あり
法定報告用(匿名化前)ファイル仕様説明書		新規作成?		
法定報告用(匿名化前)データアーカイブ仕様書		新規作成?		
閲覧用データファイル仕様説明書			新規作成?	
閲覧用データアーカイブ仕様			新規作成?	
同意情報ファイル仕様説明書				
同意情報用アーカイブ仕様				
OID(オブジェクトID)表	あり			医療保険者提出用と同一
XML用特定健診項目情報	あり			医療保険者への提出用と同一
XML用特定保健指導項目情報	あり			医療保険者への提出用と同一

これまでの2系統の仕様書に、黄色列が加わり関連仕様書が追加されていく見通し

本日のトピックス

- 委員会構成と本年度の成果（見込み）
- 特定健診、特定保健指導関連事項
- 経済産業省ヘルスケアIT研究会関連事項

健康・医療情報の利活用に向けた民間投資の活性化について(ヘルスケアIT研究会とりまとめ概要)

背景

- 生活習慣病等の増加に伴い、個人の日常生活の重要性が高まり、**疾患の予防・進行抑制や疾患との共生**が求められ、発症前・治療後の日常生活データ活用によりアウトカム向上を目指す**パッケージ型ヘルスケアソリューション**創出の重要性が高まる。
- IoT、ビッグデータ等の技術革新により**新たなデータ項目の活用が可能**になりつつあり、従来は医療現場において十分に活用されてこなかった新たなデータを含めてデータを活用することで患者の総合的な状況を把握することが重要である (IoBMT*)。
- ヘルスケアITビジネスに対する**国内投資は拡大の余地**がある。(米国は日本の100倍、欧州・中国は日本の15倍というデータも)

*IoBMT (Integration of BioMedical Things)

- 民間投資の活性化により、国内に豊富に存在する健康・医療情報が、民間においても安全かつ効率的に活用され、医療の質を高めるイノベーションを実現する。**
- 実現したイノベーションが**国民・患者や医療関係者に具体的なメリットとして還元される**ことで、健康・医療情報の利活用に対する国民・医療関係者双方の理解が促進される。

課題

(1) 医療関係者と民間企業の協力促進

医療関係者と事業者の協力により、エビデンスに基づくサービス開発が求められるが、医療分野の特殊性により協力が進みづらい。

① 医療関係者と民間企業の相互理解の促進

個人情報保護、セキュリティや倫理などの面で、医療分野特有の規範が存在するが、事業者がそれを体系的に理解する機会が乏しい。

医療関係者は、IT分野の知識に乏しいことが多く、協力するにあたり信頼できる事業者を見分けることが困難。

② 健康・生活情報の活用に係る先駆的な先行事例の創出

健康・生活情報を活用することによる付加価値が明らかになっておらず、医療関係者が協力のメリットを感じづらい。

③ 公的な研究開発プロジェクトの成果の民間を含めた活用

IoT等活用行動変容促進事業等、AMED等で実施されている研究開発プロジェクトの成果を民間でも活用できるような取組が必要。

(2) ヘルスケアIT分野への投資活性化

日本では、健康・医療分野のビジネスとその他のビジネスの独立性が比較的高く、健康・医療分野への投資に関する意思決定に有用な情報やネットワークを得る機会が乏しい。

具体的対応

i. 研修の場・認証制度の創出

健康・医療分野への参入を検討する事業者向けの倫理・規制等に係る研修の場や、事業者の信頼性を客観的に示す認証制度が民間において提供されるよう、求められる要件を示す。

ii. パッケージ型ヘルスケアソリューションの創出・実証事業の実施

既存の治療法と従来取得可能なデータ(日常生活データ等)とを組み合わせ、パッケージで提供するサービスのエビデンスの構築を支援する。

iii. 公的プロジェクトの成果の社会実装

AMED事業等で構築された成果を、民間を含めて活用可能とするための運用方法等について、IoT活用行動変容研究事業を例に検討。

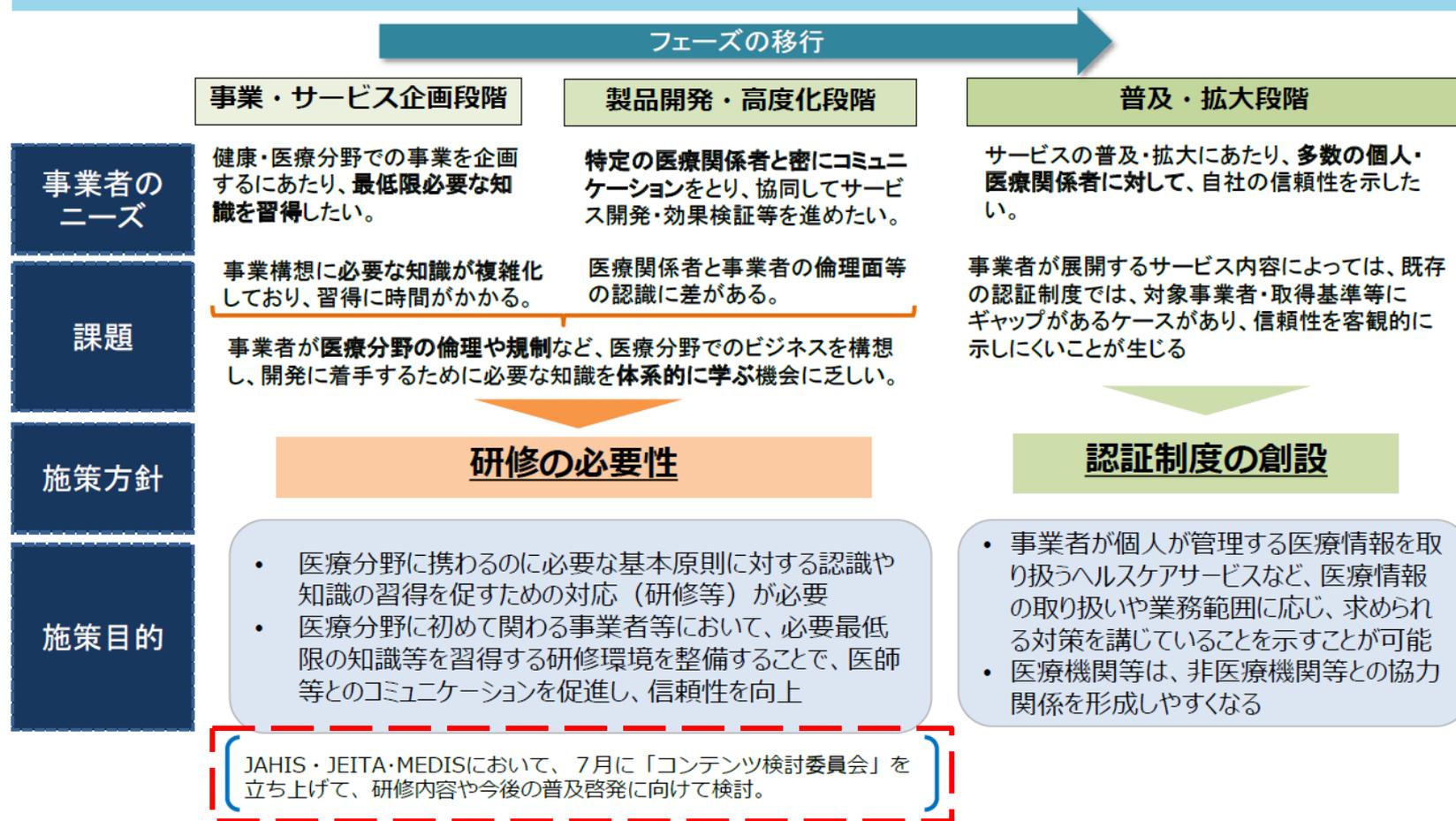
iv. ネットワーキング支援

ベンチャー等のワンストップ窓口(通称：イノハブ)の設置や、国際イベントであるWell Aging Society Summit の開催を通じて、ヘルスケアビジネスのネットワーキングを支援。

- その他の議論(今後議論を深めるべき課題)：
- ① 医療情報の利活用における公共性に関する理解増進について
 - ② IoT・AI等の技術の活用促進に向けた課題整理について

(1) 事業化段階に応じた信頼性醸成のための課題と対応

- 事業・サービス企画段階、製品開発・高度化段階、普及・拡大段階それぞれのフェーズで、非医療機関が医療機関等からの信頼を醸成するための課題や対応策が異なるため、これに応じた施策を行うことが必要。



※医療情報には、医療従事者が作成・記録した情報のほか、医療従事者の指示が記録された情報に基づき作成・記録された情報が含まれる

ヘルスケア分野への参入において理解しておきたい基礎事項 (入門編) について

テキスト目次

作成の狙い

- 医療分野の倫理や規制といった知識を体系的に学ぶ機会の提供

主な対象者と用途

- ヘルスケア分野で知っておきたい知識等の俯瞰を行いたい方
- ヘルスケア分野で新たな事業開発を考えておられる方・企業
- ヘルスケア事業部門に異動となった方（分野未経験者）
- 団体や社内での勉強会テキスト等

作成：ヘルスケアビジネス入門コンテンツ検討委員会

下記3団体が発起人となり、

医療情報システム開発センタ（MEDIS-DC）
保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）
電子情報技術産業協会（JEITA）

経済産業省の関連会議体委員や業界有識者を中心に構成。

座長：山本隆一（MEDIS理事長）

※セミナーやテキスト頒布についてのお問い合わせは下記事務局まで

ヘルスケアビジネス入門コンテンツ検討委員会事務局
一般社団法人電子情報技術産業協会 IoT事業推進部
(healthcare@jeita.or.jp)

- ◆ 本テキストにおけるヘルスケアビジネスについて
- ◆ ビジネスを考えるうえでの基礎事項について
- ◆ ヘルスケア分野における事業開発プロセスの流れ
- ◆ 仲介者との関わり方
- ◆ 医療者・研究者との関わり方
- ◆ 利用者（ユーザー等）との関わり方
- ◆ 関連法規等を理解する前に
- ◆ 主な関連法規
 - ・ 医学系倫理・研究倫理関連
 - ・ 個人情報保護・情報システムセキュリティ関連
 - ・ 消費者保護・各種広告規制・公正取引関連
 - ・ 医療従事者・医療施設関連
 - ・ 医薬品・医療機器関連
 - ・ 医療保険関連
 - ・ 労働安全衛生関連
 - ・ 健康増進・地域保健関連
 - ・ 健診・検診・保健指導関連
- ◆ 事業者以外へのメッセージ
- ◆ 参考資料
 - ・ 重要用語集
 - ・ より政策等の理解を深めるために
 - ・ その他の関連知識
- ◆ 地域医療連携、地域包括ケア関連
- ◆ 介護保険・老人福祉関連
- ◆ 知的財産権保護関連

- テキストの活用について
 - 委員団体等で資料提供やセミナーの開催
 - Healthcare Innovation Hub等での紹介
 - 各経済産業局や、各地域の次世代ヘルスケア産業協議会等への提供
 - 外部向けセミナーや内部勉強会開催に関心のある企業・団体等への提供
- 配布形式はPDFを基本とし、目的に応じて使い分けて頂く。

配布形式	想定用途	当委員会内配布先
1up PDF	セミナー実施時の画面投影	委員団体
2up PDF	セミナー実施時の印刷配付資料	委員団体
4up PDF	委員団体内での会合等における印刷配付資料	委員団体
8up PDF	委員団体内での会合等におけるデジタル提供用	委員団体

- 健康支援システム委員会では、委員会資料共有にテキストをアップロード済み
- 今後、要望に応じて勉強会等を開催予定



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました

